

第5回平戸市総合計画審議会

議 事 録

と き：平成30年2月28日（水）14：30～16：25

と ころ：平戸市未来創造館 1階ホール

開催日時	平成 30 年 2 月 28 日 (水) 14 : 30~16 : 25
開催場所	平戸市未来創造館 1 階ホール
出席委員 (50 音順、敬称略)	池田直彦、今川亮生、上田正子、相知清隆、小田サチ子、鴨川周二 久原鐵男、西サチ子、松山芳弘、村上則夫、山口純哉、吉居辰美 吉福弘実 (13 名)
欠席委員 (50 音順、敬称略)	岡村幸夫、岡山紀一、柿添圭嗣、坂本鏡心、滝 知則、橋口和久、藤 澤美好、森 健司 (8 名)
事務局 (財務部企画財政課)	吉住財務部長、小出企画財政課長、藤山企画統計班長 山口企画統計班主査
次第 1. 開会	
2. 審議会会長 あいさつ	村上会長
3. 議事 (1) 第 4 回総合計 画審議会後の経 過報告について (2) 第 2 次平戸市 総合計画の前期 基本計画 (案) について 委員 事務局	(事務局から説明、質疑無し) (事務局から説明) 地区別の地域コミュニティ活動に参加している人の割合についてです が、「全体的に積極的に参加している」というのはどこから持ってきた 数字ですか。 平成 28 年 10 月、2,200 人を無作為抽出して市民アンケートを実施し た中で質問の項目の 1 つにこの文があり、地区ごとに整理して載せたも のです。

委員	<p>気になったのが、生月地区が極端に少ないことです。地区では婦人会活動、老人クラブなどかなり積極的にやっています。アンケートの結果がこうなっているということですね。</p>
事務局	<p>住民から全部アンケートを採ることが難しく、無作為抽出で行い、ここに挙げています。地域づくりプロジェクトを地域一体でやっっていく中、指標としてこの値ではないかと考え、置かせてもらっています。</p>
委員	<p>以前活動しているグループなど、調査したことがあると思います。その辺の数字を持ってくることが、正しいことにつながると思います。</p>
会長	<p>アンケートを採ったときに、日本人的に控えめにするところがあります。盛んに活動していても、そうでないと答えることが結構多くあります。積極的な集団と控えめな集団など、母集団によって結果が異なります。生月の皆さんは控えめな人が多いのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>アンケートは、2,200件送付で690件の回収ですから、どうしても偏りが出てくる可能性があると思います。アンケートそのものは正しい手続きで取られていて、いろいろな結果が出ているので、尊重してはどうかと思います。一般の人には、地区での偏りなどは分からないと思いますので、アンケートについて丁寧に説明することが大事だと思います。</p> <p>数字だけで表すと、厳しい結果が出ることは多くあります。生月のところでも、地区概要の特徴で、「生月ロードレースや平戸ツデーウォークの開催、地域及び青少年のスポーツ、レクリエーション活動が活発に行われている」というところを見ると、恐らく参加していると思います。数字の話と、実際の行動を示すようなところについて、両方同じようなウエイトでしっかり書いていくことだと思います。団体を調査し、活動をやっていることがあれば、地域での特徴的な活動を事例として掲載し、数字で分からないニュアンスが出せると思います。</p>

会 長	<p>形としてはこのとおりですが、内容的なものでご意見、感想があればお願いします。</p>
委 員	<p>「生涯にわたる学習による人づくり」の「平戸の明日を担う人材を育成する」で、38 ページに「豊かな心を育む教育を推進する」というところですが、少子化の中で小中学生の異年齢交流の場が必要ではないでしょうか。子どもたちが切磋琢磨するという意味と、交流する中で豊かな心を体験的に学べるのではないかとすることが必要ではないかと考えました。</p> <p>38 ページの施策の2「豊かな心を育む教育を推進する」で主な取り組みが5つ挙がっています。異年齢児童・生徒の交流促進などがあれば、今後 10 年間を見たときにそういう場面が出てくるのではないかと思います。小学校、中学校でそれぞれ努力していますが、子どもたちの活動を見たときに、学校の努力として交流させる場が出てくればと思います。地域の中でそういう交流があるところもあるでしょうが、一番早いのは学校教育と思います。そういうものが1つ加わればと思います。</p>
会 長	<p>今後具体的に行動を起こすとき、どういう形の行動に移っていくか。貴重なご意見ですが、事務方の意見はいかがですか。これは文言を付け加えてほしいというご意見ですか。実践の中で、そういうものを実現して行ってほしいということですか。</p>
委 員	<p>意識としては、何か入れておきたいということです。子どもたちが少なくなっていますので、何も入ってないということではいかがなものかと思います。</p>
事務局	<p>頂いたご意見については、学校教育課と協議し、どこかの場所で「交流促進」などの文言の挿入ができないか確認のうえ対応させていただきたいと思います。</p>

会 長	<p>当初、製本・完成は3月の計画でしたが、事務局からは何ヶ月か遅れでも、良いものを作りたいという強い想いがありました。時間的な制約もあって、最終的には事務局に一任する形で作らせていただければと思いますが、ご意見はどんどんお伝えしていただきたいと思います。</p>
委 員	<p>81ページの「基本政策1」に「DMOを推進」とあります。これは市民に伝えるための計画です。行政には分かるかもしれませんが、市民は「DMOとは何か」という感覚です。市民に伝わるように平易に書き換えるように以前提案しましたが、どのような方向で解決するのですか。</p>
事務局	<p>このページに注釈は付いていませんが、ページの中で表現するようにしています。後ろの用語解説を表に出すようにし、後ろまで見にいかずに済むように表示する予定です。</p>
委 員	<p>そのような配慮はいいと思います。用語は用語だけ集めたものではなく、DMOが出てきた場合、そこに注釈の印が付いていれば、そのページで読みます。そういう配慮をしていただくのが、市民に一番親切なやり方だと思います。</p>
会 長	<p>本文に入れる必要があればそういう形、注釈が読みやすければそういう形で示せばいいと思います。</p>
事務局	<p>申しあげましたように、そのページごとの注釈と、別に今まとめているような用語解説をダブルで付けようと思います。</p>
委 員	<p>13ページの水産業に関して、【やるばい指標】で沿岸漁業の地域就業者数が増えていく計画ですが、隠れた数字として高齢化など諸々の事情で廃業者が3倍、5倍もいます。そういう中で、目標の販売高が達成されるのか疑問です。水産業に限らず農業、移住者数も同じです。変えるのではなく、実施する場合、2倍、3倍のことをしていかないと生産</p>

	<p>額、販売高は達成できないと思います。</p>
会 長	<p>目標値を下げるわけにはいかず、上げていかなければなりません。</p>
委 員	<p>資源はあるので、やり方によっては2倍、3倍の数字は達成可能だと、個人的には考えています。漁協の課題でもありますが、最低の収入を保障するなど、いろいろなことを組み合わせればできるのでないかと思っています。</p>
事務局	<p>水産については、水産課とも話して、数字や計画の中身を作ってきました。重点プロジェクトの中でも出てきますが、今後は資源管理と流通・販売の改善が重要です。加えて、人材の確保育成についてやっていかなければならないということで話をしました。それを受けて、重点プロジェクトに盛り込んでいます。</p> <p>目標数値は、現状の流れでいくと達成できない可能性もありますので、重点プロジェクトに取り組みながら、目標値への決意で計画、プロジェクトを挙げています。</p>
会 長	<p>他にご意見、ご感想等はございますか。後ほど、意見等をお聞きする時間を取りますので、この議案はここで締めさせていただきます。</p> <p>基本計画は承認を取る必要がありますが、もう少しご意見、ご感想等があればお願いします。</p>
委 員	<p>冊子の厚みはどの程度になりますか。</p>
事務局	<p>今日サンプルで配っている紙質を使うということでもなく、文字の大きさが最終確定にはなっていません。あまり大きくするとページが膨らみますので、他の自治体の文字のポイントを参考にしています。厚さはフルカラーですから透けては困りますが、2～3cmまでは考えていません。1cm強のイメージです。</p>

会 長	前回の基本計画よりも、やや厚めですか。
事務局	現行の計画で約 1 cm です。170 ページですが、ページ数は同じか、少し増えるかもしれません。文字の濃さは見やすいものにしたいと考えています。文字の大きさも、今配布しているものを最低限として調整します。また、市民には概要版（A 4 判）の配布を考えています。
委 員	地区ごとのまちづくり計画は、最終的な決定をする前に、地域協議会で周知徹底する段取りはないのですか。地域協議会は、その地域のいろいろなことについて協議しているわけですから、結果がどうなるのかの前に、こういう方向で進んでいるとの経過の説明はないのですか。
事務局	現在の内容は、支所などに諮って作成しています。地域協議会には、支所においても諮っていないと思います。議会に上程する案件ではないため、計画は意見を聞くという形であり、市議会議員にも今議会中に説明するところです。しかし、現在の記載内容が最終ゴールではなく、パブリックコメントなどで修正の可能性があります。それを踏まえて、3 月末に最終的なものを固める見通しです。私たちが出向いて説明することも問題ありませんので、支所とも協議してどういう形で説明するか確認し、対応したいと思います。
委 員	田平では、3 月末に地域協議会を予定しています。経過報告など、最終的なものは周知徹底してほしいと思います。支所管内のいろいろなことを決める前に、地域協議会は支所管内のことを知っておかなければならない状況にあるわけですから、委員に周知徹底していくことは大事なことだと思います。
委 員	生月町地域協議会でも情報が入らないということで、いつも問題になります。できたら、説明を頂きたいと思っています。

事務局	<p>本日ご承認いただければ、パブリックコメントを実施し市民から意見を頂きます。市議会については、今議会中に説明して意見を頂きます。支所と打ち合わせて、地域協議会に説明するようにします。</p>
委員	<p>16 ページの「やるばい指標」の空き店舗等を活用した新規開業件数で「件／年、6、24、39」は累計ですが、9 ページの「やるばい指標」の新規就農者数で、単位が「人／年、8、6、6」はこの間に増えたという解釈になっていけば、この期間での増加という数字の見方が示されない、読む側には表現に分からない部分があると思いますので、考えていただければと思います。</p>
事務局	<p>おっしゃる通り、16 ページの部分は累計で表示が誤っていました。16 ページの一番下だと、単位が「件／年」となっていますが、この表示が単年度の意味でした。「／年」が入っていないところが累計という意味合いとしてありましたが、それでも分かりにくい部分があると思います。わかるような表現方向で対応します。</p>
会長	<p>ここで基本計画に関して承認を取りたいと思います。基本計画案を承認したということにしたいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
(3)基本計画の市長答申について	<p>(事務局から説明するとともに、文書のみでの答申を提案。意見・質問無し。)</p>
(4)「シン・平戸創生プロジェクト」(重点プロジェクト)について	<p>(事務局から説明)</p>

委員	<p>人材創出の高等学校の魅力アップですが、市内3高校に通学する中学3年生は55～60人で、残りの4割近くは市外の学校へと聞いたことがあります。うまく地元に残す方策ですが、1つはスポーツという気がします。平戸は小中学でサッカーなどに熱心です。公立では難しいと思いますが、全国規模のサッカーチームにつくり上げるなど、勉強だけでなく、芸術、スポーツでも全国規模で活躍できるものをやれば、子どもたちは市内にとどまり、市外からも生徒を呼び込み、経済的にも良くなるのではないのでしょうか。工業高校がなく、仕方のないところもあるのかもしれませんが、保護者の意見を聞きながら、取り組めればいいのではないかと思います。</p>
委員	<p>「平戸城」のリニューアルですが、平戸というと、5月ごろに庭まつりがあります。せつかくの城下町で、素敵な庭がある家は何軒も拝見できるところはあまりありません。城とタイアップし、深い関わり方をすればいいのではないのでしょうか。2番のところに何か1つ入れていただけないか、個人的な興味でもあります。</p>
委員	<p>表紙に平戸を強くイメージさせるものがあればと思います。</p>
委員	<p>「シン・平戸」創生プロジェクトは、ここの中に載っていくのですか。</p>
事務局	<p>基本構想の次に重点プロジェクトを置こうと思っています。その後に基本計画という流れです。今回の総合計画の目玉として、掲げていきたいと考えています。</p>
委員	<p>「もうける農林水産プロジェクト」ですが、農業ではもうけている人がいるのでしょうか。農業には夢があると思いますが、農業をしている人からは「農業はもうからない」と聞きます。「農業は楽しい」と言えるように、農漁業従事者が夢を持てる言葉が欲しいと思います。農業従</p>

	<p>事者が「この仕事は楽しい」と言わないと、後に続く人は出てきません。農業をする人の意識改革ができるものを入れてほしいと思いました。また、水田を飼料米にしている人が多く、食用米をつくるべきだと思います。意識を変える何かが必要です。</p>
委員	<p>資源管理型漁業が大事ですが、まずは生産ありきです。「養殖業の推進」が書かれていますが、いい漁場がありますから、その生産性を上げることが流通にもつながるという気持ちでいます。</p>
委員	<p>重点プロジェクトについては盛り込むということですが、必ず入れなければいけないのでしょうか。この内容は、既に基本計画のそれぞれの項目に入っており、それでいいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>総合計画は、市の最上位の計画として全てを網羅している作りになっています。メディアからも必ず重点は何か問われます。力を入れる事業は出していくというところで、第1次総合計画のときも重点プロジェクトがあり、今回は3つに絞りました。しかし、全部は見きれませんので、集中した考え方を見せることで全体を知らしめることになると考えており、できれば重点プロジェクトを出していきたいと考えています。</p>
委員	<p>メディアは関係ないと思います。市民が主役です。</p>
事務局	<p>メディアということではなく、どうしても「計画の目玉は何か」ということが出てきます。確かに、「他には力を入れないのか」ということになりませんが、例えば、人口減少対策を行う中で重点化する部分は必要になり、この3本で重点化しているということで、ご理解頂ければと思います。</p>
会長	<p>「プロジェクトがありながら、さらにプロジェクトか」という話かもしれないけれども、突出して力を入れなければならないプロジェクト</p>

	<p>はどこの計画にもあります。「尖がったところ」というか、特色を出す面では、そこがまた市を生かす柱になっていくということで、今回3つが出ていると理解していただいてよろしいですか。</p> <p>委員 1番目の人材創出ですが、1つのことを研究・探求している人たちのことが欠落しているのではないかと思います。変わり者、追究する人、変わった感覚の人たちが平戸を支えている部分もあります。農業・漁業にこだわらず、少数派の研究者についてあれば、平戸のためになるのではないかと思います。</p> <p>また、地元にある学校なのに、自分たちの個性を認めてもらえるだろうかという意見を聞きます。産業のためだけの人材と言ってしまうばそれまでですが、それに関わるもう1つ人材育成があれば、面白いのではないかと思います。</p>
<p>(5)今後のスケジュールについて</p>	<p>(事務局から説明)</p>
	<p>委員 製本した場合、気をつけなければならないのは誤字・脱字の校正と、訂正表を出さなくてもいいようにする文を作り上げることです。訂正表を出すと、それだけでそのものの価値が落ちる気がします。印刷会社と何度もやり取りし、ゴーサインを出す。遅れても構わないと思いますので、そういう配慮をお願いします。</p> <p>(会議終了)</p>